

板橋区議会議員 区政レポートNo.019

渡辺よしてる

..... 民主クラブ (立憲民主党・国民民主党)

教育長へ質問しました!

図書館に関する一般質問

紅梅小・赤塚第三中出身!
地元生まれ、地元育ち!!



Q 子どもたちの読書環境の整備について

現在、ネット通販サイトではレコメンド機能などで購入者の嗜好からお勧め商品を進めてくことやネットサイトでも分野や趣味などで「お勧めの本ベスト10」等の形で本の検索や好みの本がピックアップされ自身で欲しいものを探すという行動や検索のものが簡略化されております。そういった中、読みたい本を探す、なんとなく本棚を眺める等の環境そのものが社会の中では少なくなり、図書館で行える本探しや、なんとなく本棚を眺めるなど本を手取る前の環境も非常に重要になってくると考えます。そこでお聞きいたします。子どもたちの読書のための環境整備や充実に向け、豊かな感性や情緒を育て、生きる力を身につけることを目的としている基本的な方針を具体的にお示しください。また、年齢や発達段階に応じた取り組み、就学前や小学校低学年から高学年、中学への取り組みをお聞かせください。

A 教育長の回答

初めに、子どもたちの読書環境の整備に関しまして、子どもの読書の基本的な方針についてのご質問ですが、教育委員会では、子どもの読書活動の重要性を踏まえ、板橋区子ども読書推進計画を策定し、今年度はその第2期計画に基づき、子どもたちの読書を支援しております。図書館や学校の施設環境の充実、家庭や地域と連携した読書支援、子どもの年齢や発達に応じた就学前から中学生までの取組み、読書による学力向上を基本方針としております。現在、子ども読書推進計画は、第3期の計画を進めており、読書環境の変化への対応、絵本のまち板橋や音読の推進などを検討しているところです。次に、子どもの読書の具体的な取組みについてのご質問ですが、子どもたちが豊かな感性を育み、創造力を伸ばすとともに、学ぶ力を高めるために、幼少期からの読書の継続的な取組みを重視しております。例えば、重点事業の1つである読書通帳の記録は、就学前の保護者が、読み聞かせの記録として活用できるほか、小学生、中学生には、読書の習慣化を意図して作成しているところです。また、小中学生を対象とする絵本づくりの取組みでは、学校や区内の印刷製本事業者と連携しながら、子どもたちに夢を与え、クリエイティブな発想を育む事業を進めているところです。

渡辺よしてるプロフィール

- ◇稚竹幼稚園 ◇志村第五小学校 ◇紅梅小学校 ◇赤塚第三中学校
- ◇都立北野高等学校 ◇専修大学法学部法律学科 中退
- ◇菅直人事務所 学生インターン ◇衆議院議員 秘書 ◇料理人(板前) ◇専業主夫
- ◇2019年(平成31年) 板橋区議会議員選挙で初当選
- ◆妻と娘の3人暮らし ◆1987年(昭和62年)10月16日 生



 @yoshiteru62
  @yoshiteru62
  OFFICE_YOSHITERU_WATANABE
  LINE@ 友達募集中!
  公式サイト
  <http://www.yoshiteru.jp/>

Q 新中央図書館ICT化について

「新中央図書館のICT化の方向性」ではICT化とは自動貸出・返却機、セキュリティゲート、予約資料受取システムなどを導入し、新中央図書館の新たな整備に際してICT化による魅力あるサービスを提供するとともに、図書館の魅力向上を目指していく。とあります。読書は本を探すところから始まり、探すこと、読むこと、思い返すことなど非常に重要な役割があります。これは本棚から実際に表題を選ぶなど、製本された本を探し読むという魅力の一つであると考えます。主な特徴の中に電子書籍の活用をしておりますが、これは所謂、電子図書館を目指すのでしょうか。区の見解をお聞かせください。



A 教育長の回答

新中央図書館ICT化についてのご質問ですが、平成29年度に新中央図書館のICT化の方向性を策定し、新しい中央図書館では、主に資料の貸出返却など、資料整理の利便性の向上にICT機器を導入し、運用することとしています。また、電子書籍の活用によるデジタル資料コンテンツにつきましては、新しい中央図書館では、現在のところ導入の予定はございません。図書館のデジタル化につきましては、今後、著作権法などの法律改正に留意し、利用者に最適となる環境整備を検討してまいりたいと思います。

Q SNS活用について

「第一期板橋区子ども読書活動推進計画」にて「新一年生の図書利用登録事業」やブックスタートパックの配布時に幼児でも図書館利用登録ができることを保護者に向けて案内し利用促進に取り組んだとあります。ですが、計画策定前の2008年度(平成20年度)の登録率は上回っているものの、目標値には到達できていないとあります。今後の利用率向上の為の施策、特にSNS利用など広報周知に関してお聞かせください。



A 教育長の回答

SNS活用についてのご質問ですが、現在、図書館の広報活動は、区ホームページのほかに、フェイスブック、インスタグラム、動画配信を使って周知を行っているところです。インターネットを介した資料予約も年々増加している中、子どもから大人まで幅広い世代で利用できる図書館の広報に、SNSの活用は重要であると認識しております。

可決 一般会計補正予算(第6号)に計上された主な事業 補正額 7億9,200万円

福祉費	産業経済費	総務費	資源環境費
新生児臨時特別給付金支給経費 2億2,427万2千円 特別定額給付金の対象とならなかった令和2年4月28日以降に出生した新生児を対象に、区独自の臨時特別給付金(1人あたり5万円)を支給	(公益)板橋区産業振興公社助成経費 5,200万円 令和2年8月に創設した「新型コロナウイルス感染症拡大防止事業助成金」及び「営業活動促進事業助成金」の増額	個人番号カード発行経費など 6,560万3千円 マイナンバーカードの交付申請件数の急増に対応し、交付体制を強化	商工業振興経費 6,210万円 コロナ禍の影響による売上減少などを踏まえ、商店街運営に係る経費を助成
衛生費 予防接種 3億3,503万3千円 区が実施する高齢者インフルエンザ定期予防接種に係る自己負担を無料化	廃棄物収集経費 1,254万2千円 粗大ゴミ収集の件数が急増し、申込みから収集までの日数が長期化しているため、対策車の増車などを行う		